

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイIIー 予想分配金提示型

日本円・コース
豪ドル・コース
ブラジル・リアル・コース
米ドル・コース
通貨セレクト・コース

満期償還(償還日 2023年 8月28日)

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5770>
<5771>
<5772>
<5773>
<5774>

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 日本円・コース

<5770>

追加型投信／海外／株式

満期償還 2023年 8月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	10,699円02銭
	純資産総額	139百万円
償還期	騰落率	10.7%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

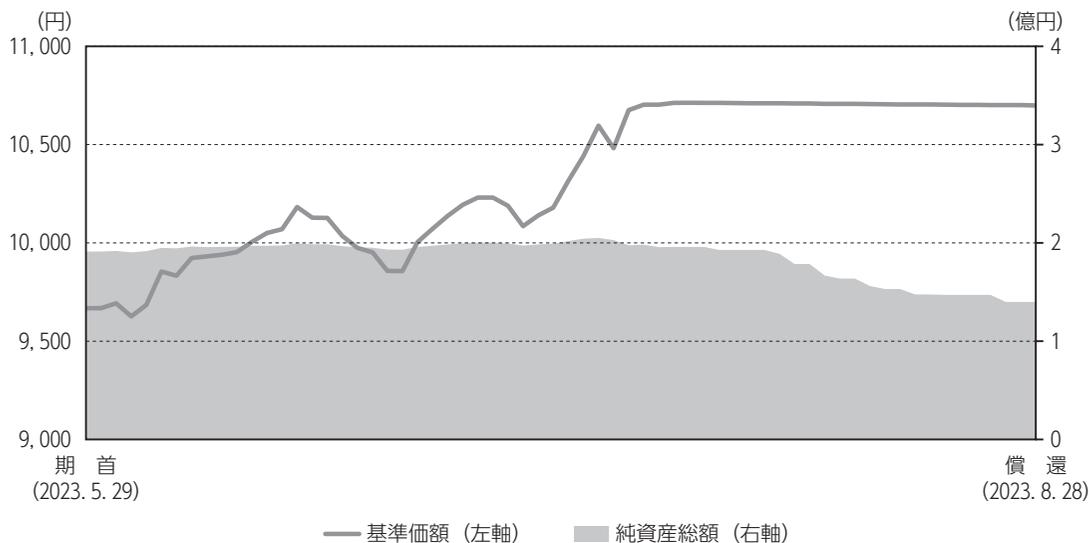
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：9,668円

償還時：10,699円02銭

騰落率：10.7%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことが主な要因となり、上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 30~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	32円	0.308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,339円です。
(投 信 会 社)	(11)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(20)	(0.191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	32	0.308	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

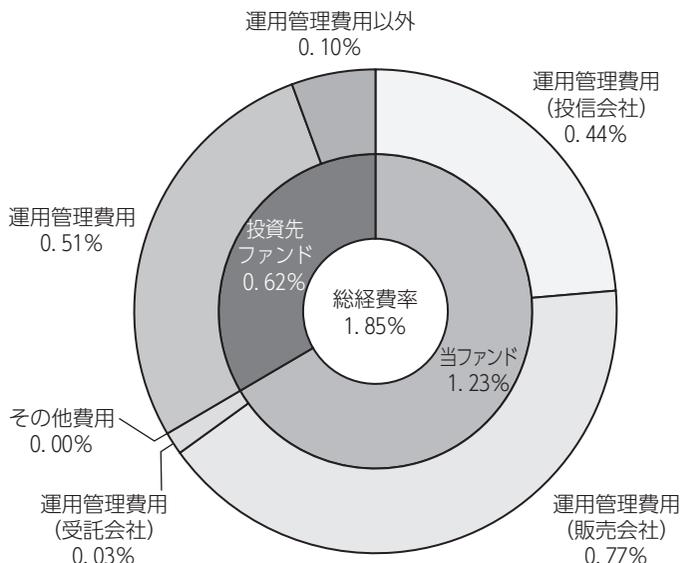
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.85%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

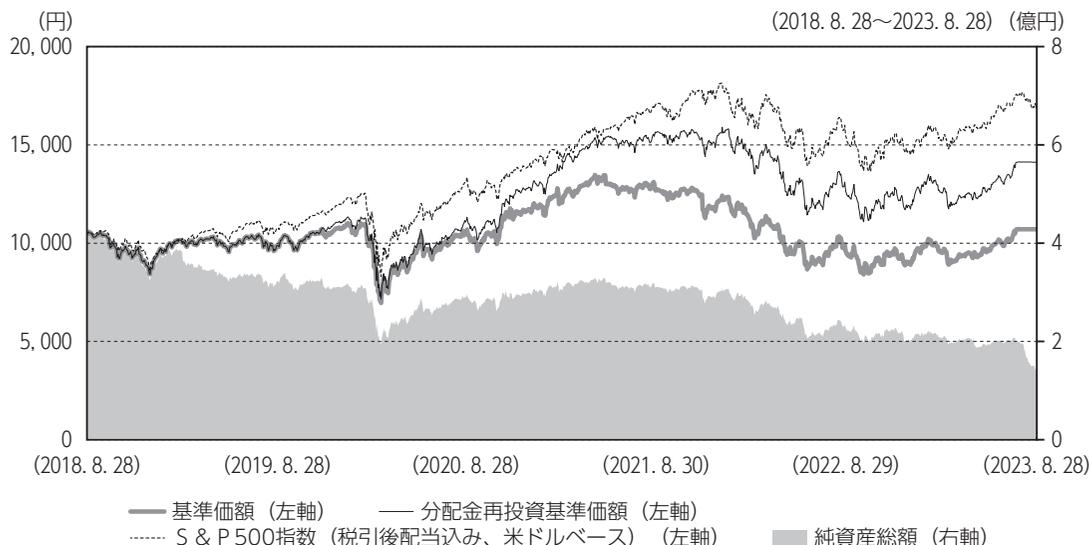
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月28日の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年8月28日 期初	2019年8月28日 決算日	2020年8月28日 決算日	2021年8月30日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 償還時
基準価額 (円)	10,512	9,640	10,385	12,703	9,582	10,699.02
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	600	1,900	800	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△8.3	14.0	42.4	△19.2	11.7
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.5	23.1	30.8	△9.1	9.9
純資産総額 (百万円)	423	311	283	306	223	139

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

* 参考指数を「S & P 500 指数 (配当込み、米ドルベース)」から「S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

設定以来の投資環境について

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、F R Bの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。8月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やA I（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■短期金利市況

日銀は、いわゆる異次元の金融緩和のため2016年1月よりマイナス金利を導入し、それ以降短期金利はマイナス圏で推移しました。

一方F R B（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25~2.50%に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0.00~0.25%に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年3月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25~5.50%まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」（※1）と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。

主として、「US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替ヘッジを行い、信託財産の成長をめざします。

※1 US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

※2 当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■当ファンド

当ファンドは、「U S コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス)」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「U S コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス)」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■U S コンセントレイテッド・ケイマン (日本円・クラス)

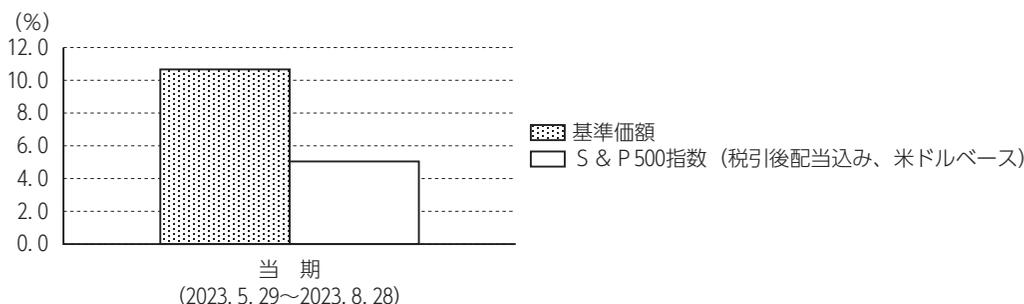
株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/日本円買いの為替ヘッジを行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第3期各300円、第4期350円、第5期～第7期各300円、第14期350円、第15期～第17期各300円、第18期350円、第20期300円、第25期300円、第28期300円、第29期400円、第30期～第32期各500円、第33期450円、第34期350円の収益分配を行いました。

なお、第8期～第13期、第19期、第21期～第24期、第26期～第27期、第35期～第39期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



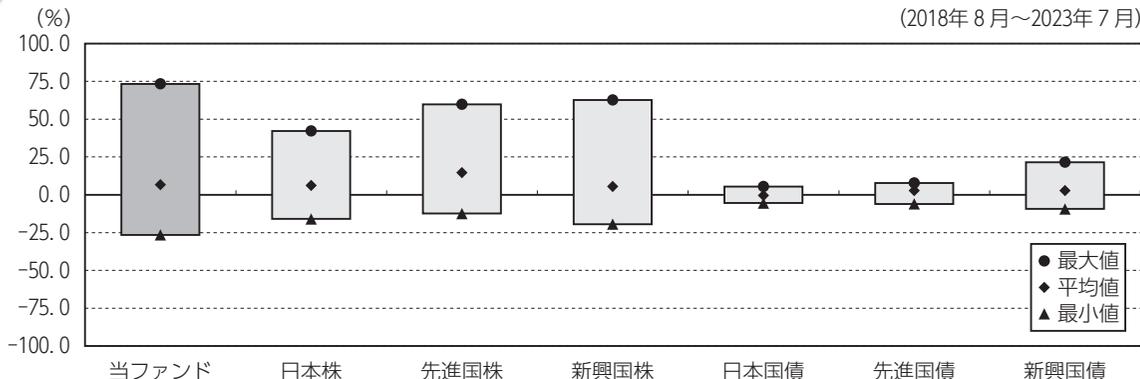
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年8月20日～2023年8月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」（以下「US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）の受益証券を通じて、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替ヘッジを行ない、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③US コンセントレイテッド・ケイマン（日本円・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／日本円買いの為替ヘッジを行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 日本円・コースは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	73.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	6.7	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7
最小値	△ 26.6	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPMorgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2023年 8 月28日
純資産総額	139,973,671円
受益権総口数	130,828,472口
1万口当り基準価額	10,699円02銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は103円、同解約元本額は66,998,752円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 豪ドル・コース

<5771>

追加型投信／海外／株式

満期償還 2023年 8月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	12,051円89銭
	純資産総額	62百万円
償還期	騰落率	15.9%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

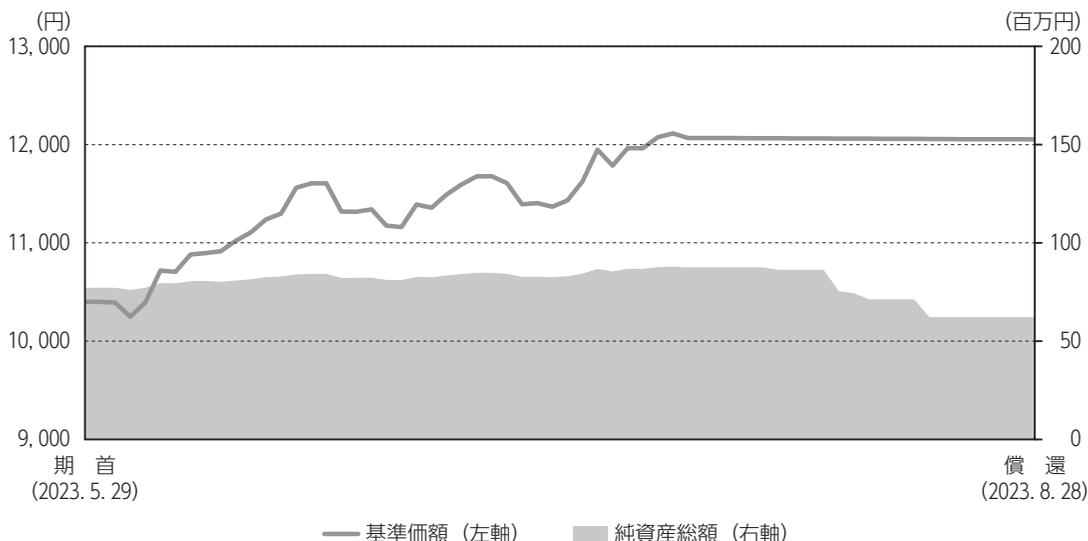
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,400円

償還時：12,051円89銭

騰落率：15.9%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことや、豪ドルが対円で上昇（円安）したことが主な要因となり、上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 30~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	36円	0.308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は11,597円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(22)	(0.191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	36	0.308	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

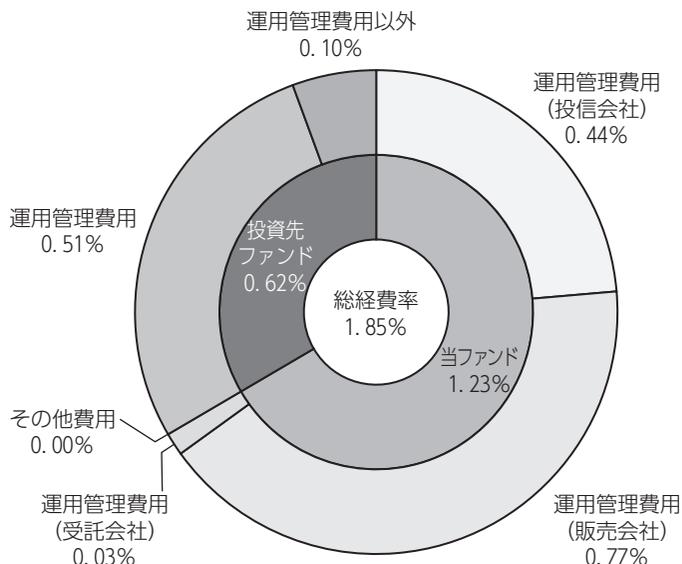
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.85%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.85%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月28日の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) および豪ドル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年8月28日 期初	2019年8月28日 決算日	2020年8月28日 決算日	2021年8月30日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 償還時
基準価額 (円)	10,522	8,601	10,362	13,231	10,898	12,051.89
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	1,900	1,650	300
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△18.3	20.5	47.6	△5.3	13.8
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.5	23.1	30.8	△9.1	9.9
豪ドル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△12.7	8.5	3.6	18.3	△0.9
純資産総額 (百万円)	265	144	133	133	93	62

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売相場仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

* 参考指数の「S & P 500 指数 (配当込み、米ドルベース)」を「S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

設定以来の投資環境について

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、F R Bの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。8月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やA I（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■ 為替相場

豪ドルは対円でおおむね横ばいとなりました。

豪ドル対円為替相場は、当ファンド設定時から2016年前半にかけて、中国景気の減速懸念や鉄鉱石などの商品市況の下落などを受けて下落しました。その後は、オーストラリア総選挙における与党の勝利などを受けて堅調に推移しました。2018年に入ってから、米中貿易摩擦への懸念やR B A（オーストラリア準備銀行）による利下げなどを受けて下落しました。2020年初めは、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受けて急落しましたが、その後は、ワクチン接種の進展を受けた経済活動の正常化などが支援材料となり、対円でおおむね横ばいとなりました。しかし、2022年12月に日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の長期金利の上限引き上げを実施したことなどから円高が進み、豪ドルは軟調に推移しました。償還にかけては日豪の金利差拡大を受け、豪ドルは上昇しました。

■短期金利市況

RBA（オーストラリア準備銀行）は、政策金利を段階的に2.50%から0.10%まで引き下げた後、2022年5月以降は金融引き締め姿勢を強め、段階的に4.10%に引き上げました。

一方FRB（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25～2.50%に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0.00～0.25%に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年3月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50%まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」（※1）と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。

主として、「US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

※1 US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

※2 当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（豪ドル・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)

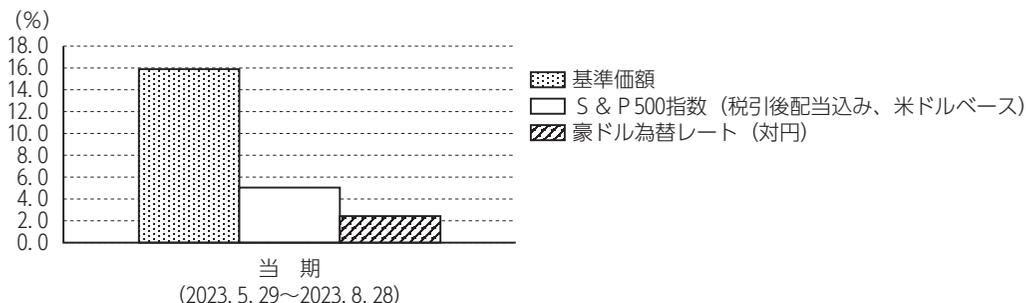
株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/豪ドル買いの為替取引を行いました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当たり、第1期350円、第2期300円、第3期350円、第4期450円、第5期500円、第6期350円、第7期400円、第8期～第9期各40円、第10期～第12期各30円、第13期20円、第14期300円、第16期～第17期各300円、第18期350円、第29期400円、第30期～第33期各500円、第34期400円、第35期350円、第36期400円、第37期300円の収益分配を行いました。

なお、第15期、第19期～第28期、第38期～第39期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



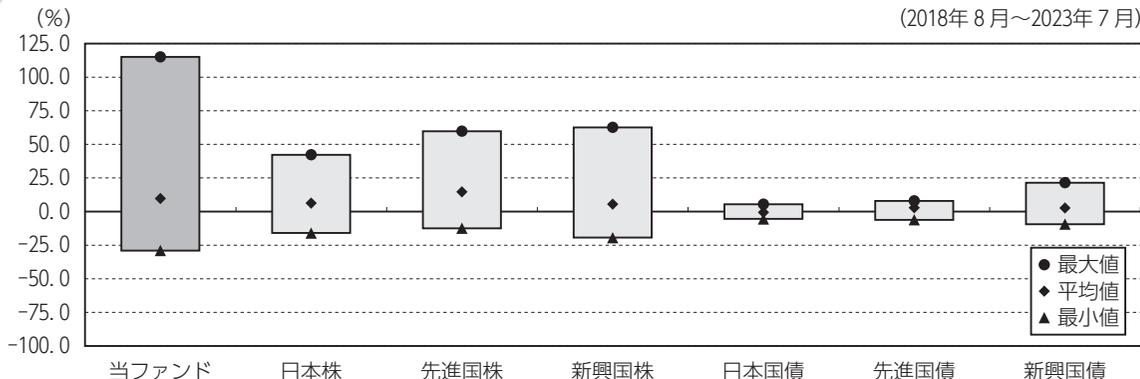
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年8月20日～2023年8月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)」(以下「US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) の受益証券を通じて、米国の株式 (※) の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。) をいいます。</p> <p>②当ファンドは、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③US コンセントレイテッド・ケイマン (豪ドル・クラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／豪ドル買いの為替取引を行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ、計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。) が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費 (外国投資信託の経費を含みます。) を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額 (1万口当り) を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 豪ドル・コースは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	115.1	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	9.8	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7
最小値	△ 29.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または特許は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または特許に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2023年8月28日
純資産総額	62,203,895円
受益権総口数	51,613,374口
1万口当り基準価額	12,051円89銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は96円、同解約元本額は22,627,638円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コース

<5772>

追加型投信／海外／株式

満期償還 2023年 8月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	13,076円68銭
	純資産総額	54百万円
償還期	騰落率	19.2%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

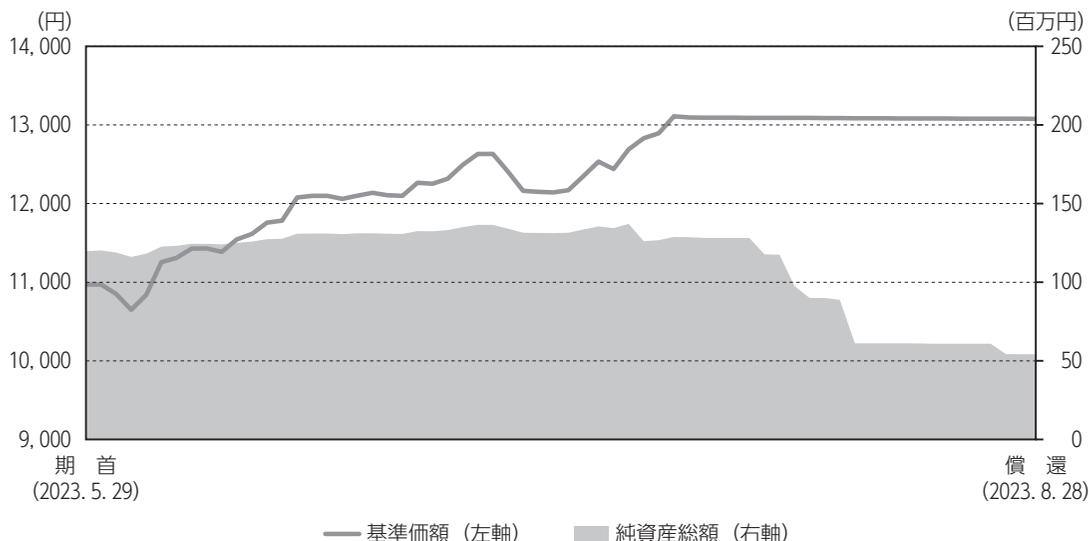
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,970円

償還時：13,076円68銭

騰落率：19.2%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことや、ブラジル・リアルが対円で上昇（円安）したことが主な要因となり、上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 30~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	38円	0.308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,414円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(24)	(0.191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	38	0.308	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

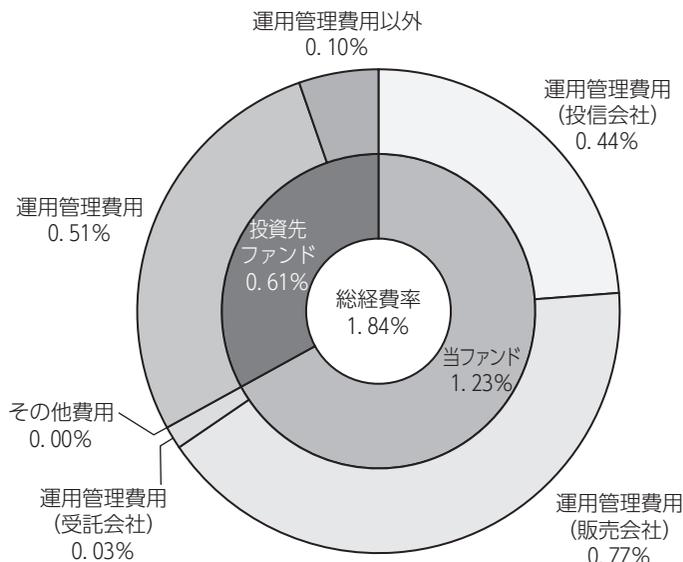
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.84%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.84%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.51%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

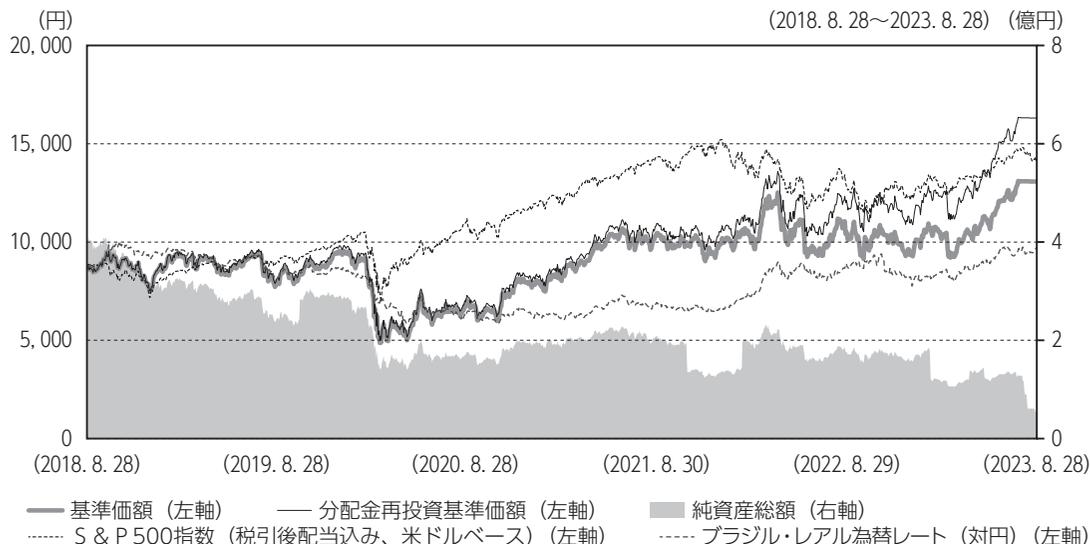
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月28日の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

* 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) およびブラジル・リアル為替レート (対円) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年8月28日 期初	2019年8月28日 決算日	2020年8月28日 決算日	2021年8月30日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 償還時
基準価額 (円)	8,814	7,711	6,554	10,293	10,405	13,076.68
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	200	100	100	1,000	840
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△10.4	△13.9	58.6	11.2	36.0
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.5	23.1	30.8	△9.1	9.9
ブラジル・リアル為替レート (対円) 騰落率 (%)	—	△6.1	△25.2	10.1	29.5	10.1
純資産総額 (百万円)	409	236	165	206	175	54

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 為替レートは、計算日における対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートを採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

* 参考指数の「S & P 500 指数 (配当込み、米ドルベース)」を「S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

設定以来の投資環境について

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、FRBの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。8月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やAI（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■ 為替相場

ブラジル・リアルは対円で下落（円高）しました。

ブラジル・リアル対円為替相場は、当ファンド設定時から2014年にかけては方向感のない動きとなりました。2015年に入ると、ブラジルや中国などにおける景気悪化が懸念されたほか、ブラジル国内における汚職問題や政局不安などが悪材料となり、下落しました。2016年以降は、ブラジル国内における政権交代を受けた改革期待や原油価格の上昇が相場を下支えする場面もありましたが、米国金利の上昇を受けて新興国通貨への売り圧力が強まったほか、米中貿易摩擦に対する懸念が高まったことなどが悪材料となり、軟調な推移となりました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて投資家のリスク回避姿勢が強まり、さらに下落しました。2021年以降は、景気回復に伴いブラジル中央銀行が段階的に利上げを実施したことや、資源価格の上昇などを受けて、ブラジル・リアルは対円で上昇しました。

■短期金利市況

ブラジル中央銀行は、2015年まで利上げを継続した後、2020年にかけて断続的に利下げを実施しました。その後は、2022年3月にかけて利上げを継続した後、政策金利は13.75%を維持したまま償還期末を迎えました。

一方F R B（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25～2.50%に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて0.00～0.25%に引き下げました。2021年末以降は、中国での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受けてインフレ圧力が高まる中、2022年3月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50%まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）」（※1）と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。

主として、「US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

- ※1 US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（ブラジル・リアル・クラス）
- ※2 当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行います。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■ 当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■ US コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)

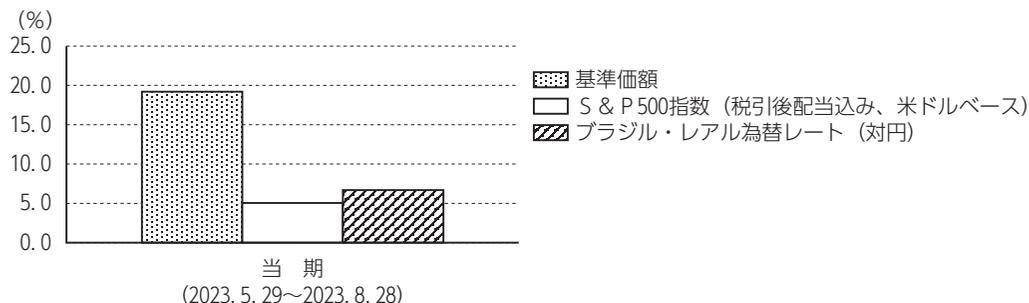
株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行いました。

■ ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第2期各400円、第3期450円、第4期～第5期各500円、第6期400円、第7期350円、第8期～第9期各270円、第10期～第11期各200円、第12期～第13期各250円、第14期300円、第15期220円、第16期～第18期各300円、第19期70円、第20期90円、第21期60円、第22期～第23期各50円、第24期～第25期各40円、第26期20円、第27期30円、第28期10円、第31期30円、第32期70円、第33期130円、第34期220円、第35期300円、第36期350円、第37期190円、第38期300円、第39期350円の収益分配を行いました。

なお、第29期～第30期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



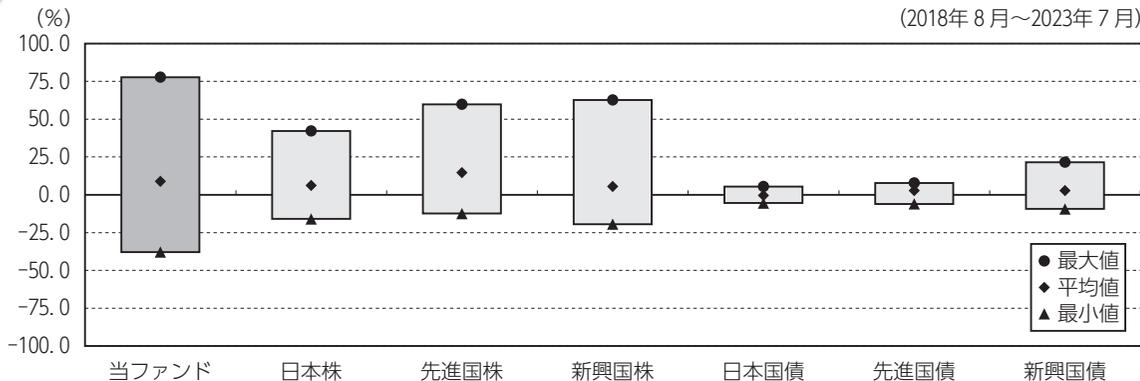
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年8月20日～2023年8月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」(以下「U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス)」といいます。)の受益証券 (円建) ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) の受益証券を通じて、米国の株式 (※) の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。) をいいます。</p> <p>②当ファンドは、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (ブラジル・リアル・クラス) では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／ブラジル・リアル買いの為替取引を行ないます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ、計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。) が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費 (外国投資信託の経費を含みます。) を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額 (1万口当り) を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 ブラジル・リアル・コースは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	77.7	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	8.8	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7
最小値	△ 37.9	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2023年8月28日
純資産総額	54,253,376円
受益権総口数	41,488,662口
1万口当り基準価額	13,076円68銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は297,589円、同解約元本額は68,048,133円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 米ドル・コース

<5773>

追加型投信／海外／株式

満期償還 2023年 8月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	12,614円63銭
	純資産総額	1,285百万円
償還期	騰落率	12.4%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

UD
FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

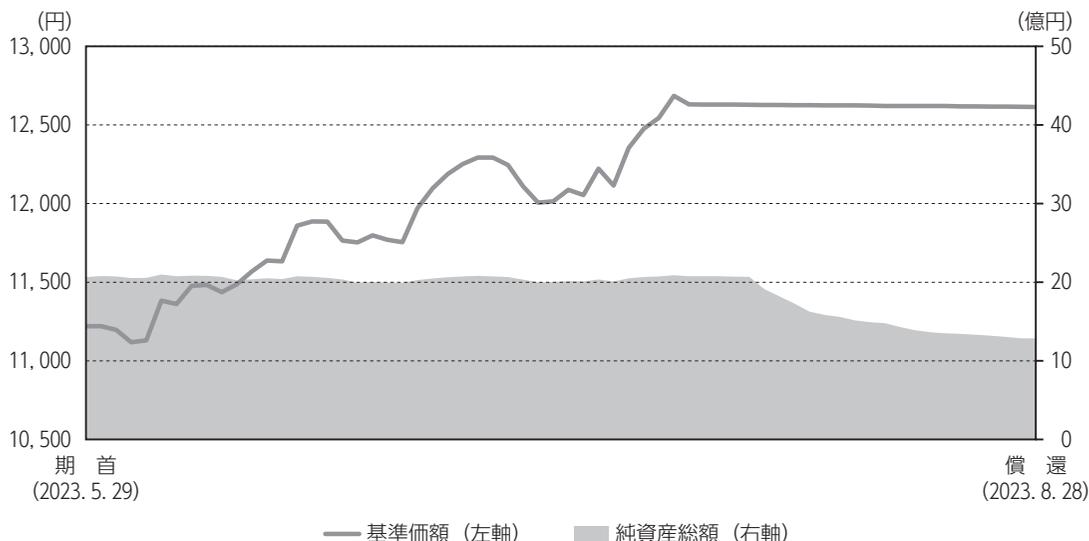
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：11,220円

償還時：12,614円63銭

騰落率：12.4%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことが主な要因となり、上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 30~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	37円	0.308%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,152円です。
(投 信 会 社)	(13)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	37	0.308	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

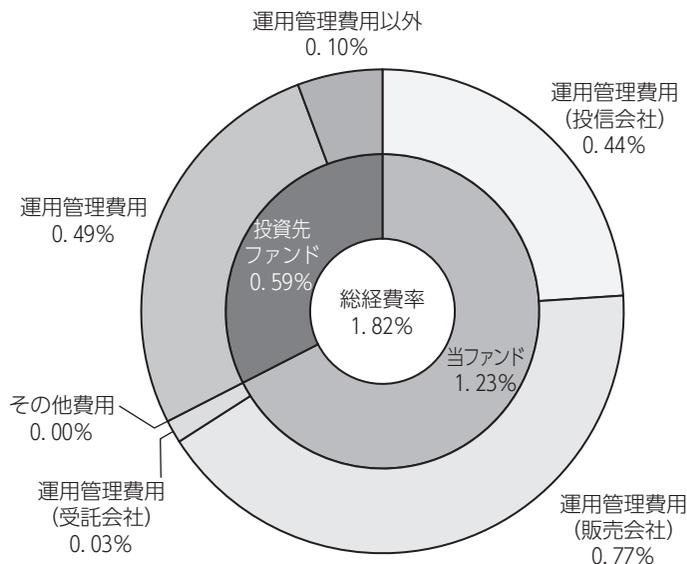
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.82%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.82%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.49%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

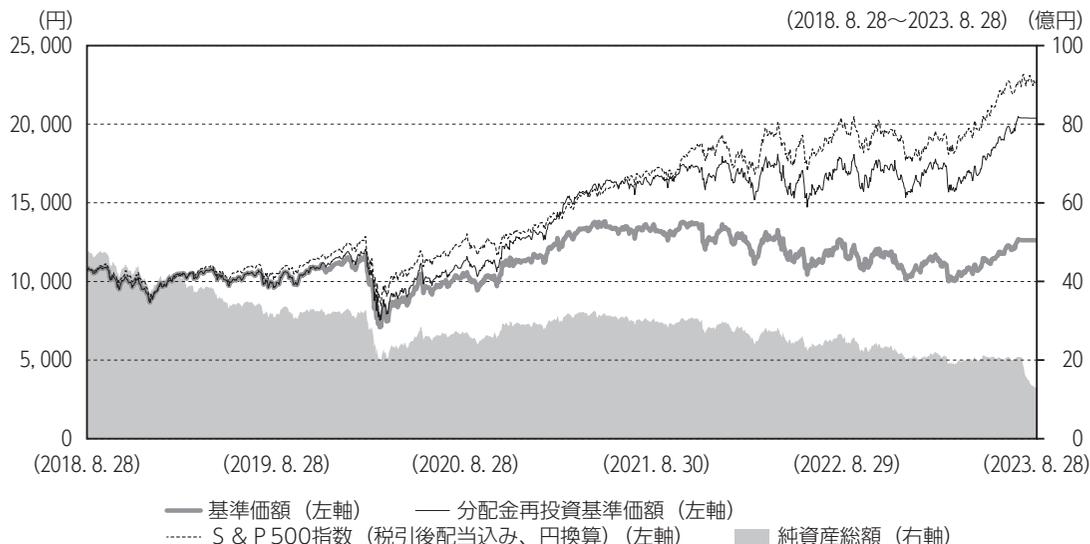
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月28日の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 参考指数は S & P 500 指数（税引後配当込み、円換算）です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年8月28日 期初	2019年8月28日 決算日	2020年8月28日 決算日	2021年8月30日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 償還時
基準価額 (円)	10,728	9,646	10,306	13,222	11,550	12,614.63
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	950	1,850	1,800	1,100
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△10.1	16.9	48.4	1.3	20.3
S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) 騰落率 (%)	—	△4.5	24.2	34.6	14.6	16.4
純資産総額 (百万円)	4,708	3,091	2,665	2,962	2,431	1,285

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算) は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

* 参考指数を「S & P 500 指数 (配当込み、円換算)」から「S & P 500 指数 (税引後配当込み、円換算)」に変更しました。

設定以来の投資環境について

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキFRB（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、FRBの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。8月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やAI（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■ 為替相場

米ドルは対円で上昇（円安）しました。

米ドル対円為替相場は、当ファンド設定時から2015年中旬にかけて、日銀の量的・質的金融緩和政策の拡大などが材料視され、上昇しました。その後は、日銀がマイナス金利の導入をしたものの、英国のEU（欧州連合）離脱や米中貿易摩擦を背景にリスク回避の動きが広まったことから、2019年末にかけて米ドルは対円で下落（円高）しました。2020年に入ると、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大からリスク回避の動きが広まるなど、一時円買いの動きから下落基調で推移する場面も見られました。しかし、米国では金融政策正常化が意識されたことから米国金利が上昇した一方で、日銀は金利上昇を抑制する姿勢を示したことから、日米の金融政策の相違が意識され、急速に上昇しました。2022年10月以降は、米国の利上げペース減速観測や、12月に日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作）の長期金利の上限引き上げを実施したことなどから、米ドルは対円でいったん下落したものの、償還期末にかけては、米国金利の上昇に伴い再び反発しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」(※1) と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。

主として、「US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」の受益証券を通じて、米国の株式(※2)の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。

※1 US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) : ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

※2 当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)をいいます。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」(※1) と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) 」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)

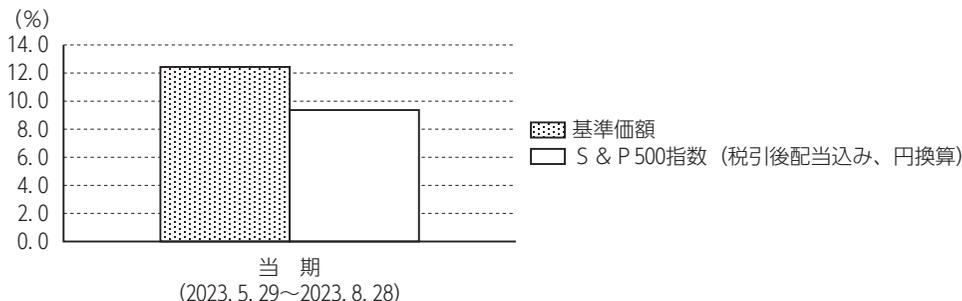
株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当り、第1期～第2期各350円、第3期300円、第4期400円、第5期～第7期各500円、第9期350円、第13期300円、第14期400円、第15期～第18期各350円、第19期～第20期各300円、第25期350円、第26期300円、第28期300円、第29期350円、第30期～第33期各500円、第34期450円、第35期400円、第36期450円、第37期400円、第38期～第39期各350円の収益分配を行いました。

なお、第8期、第10期～第12期、第21期～第24期、第27期は、分配方針通り、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



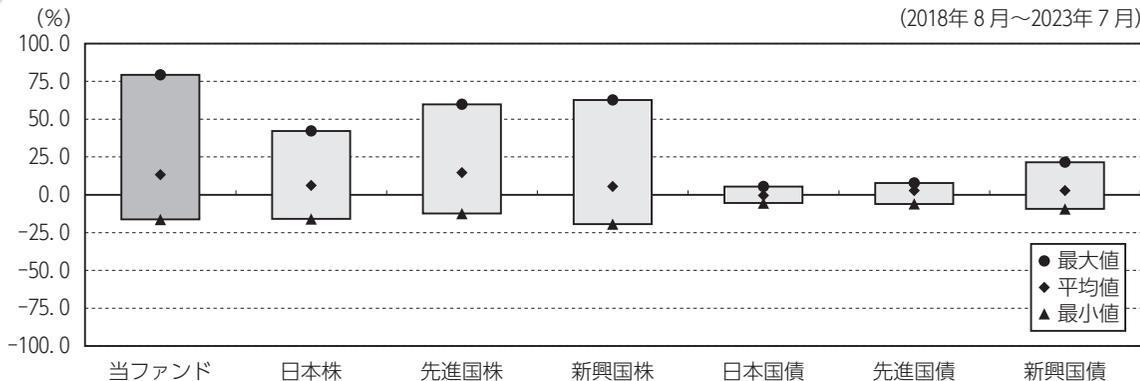
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2013年8月20日～2023年8月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ/ハリス U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)」(以下「U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス)」)といひます。)の受益証券 (円建) ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) の受益証券を通じて、米国の株式 (※) の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式 (上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR (預託証券) を含みます。) をいひます。</p> <p>②当ファンドは、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③U.S. コンセントレイテッド・ケイマン (米ドル・クラス) では、為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。</p> <p>イ、計算期末の前営業日の基準価額 (1万口当り。既払分配金を加算しません。) が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費 (外国投資信託の経費を含みます。) を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額 (1万口当り) を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行わないことがあります。</p>	

S & P 500指数は S&P Dow Jones Indices LLC またはその関連会社 (「SPDJ」) の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®] および CDX[®] は、S&P Global, Inc. またはその関連会社 (「S & P」) の商標です。Dow Jones[®] は、Dow Jones Trademark Holdings LLC (「Dow Jones」) の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスは SPDJ に付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 米ドル・コースは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	79.3	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	13.4	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7
最小値	△ 16.3	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマーゼィング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマーゼィング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマーゼィング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2023年8月28日
純資産総額	1,285,364,104円
受益権総口数	1,018,947,459口
1万口当り基準価額	12,614円63銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は12,627,001円、同解約元本額は833,732,070円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。

通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド ーイーグルアイⅡー 予想分配金提示型 通貨セレクト・コース

<5774>

追加型投信／海外／株式

満期償還 2023年 8月28日償還

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国の株式の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資することにより信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	11,150円49銭
	純資産総額	421百万円
償還期	騰落率	9.1%

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先



コールセンター 受付時間 9:00～17:00 (営業日のみ)
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

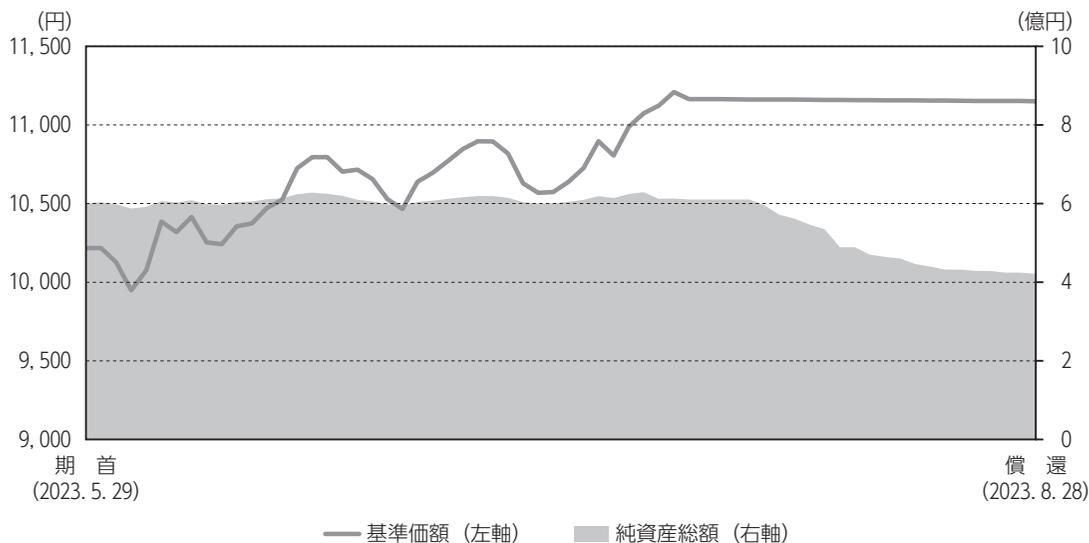
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



運用経過

基準価額等の推移について



■ 基準価額・騰落率

期首：10,217円

償還時：11,150円49銭

騰落率：9.1%

■ 基準価額の主な変動要因

当作成期の基準価額は、米国株式市場の上昇に伴い保有している米国株式が上昇したことが主な要因となり、上昇しました。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2023. 5. 30~2023. 8. 28)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	33円	0.307%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,820円です。
(投 信 会 社)	(12)	(0.109)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(21)	(0.191)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.007)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	—	—	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
合 計	33	0.307	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

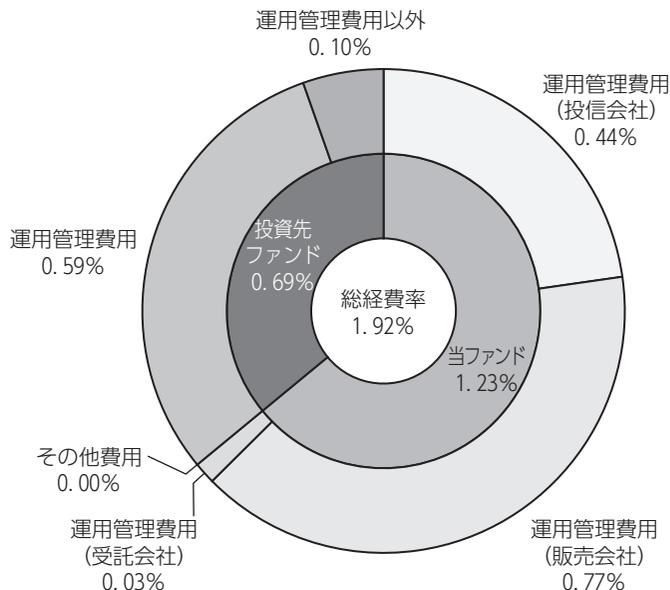
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.92%です。



総経費率 (① + ② + ③)	1.92%
①当ファンドの費用の比率	1.23%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.59%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.10%

(注1) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 投資先ファンドにおいて、上記以外に含まれていない費用は認識しておりません。

(注4) 各比率は、年率換算した値です。

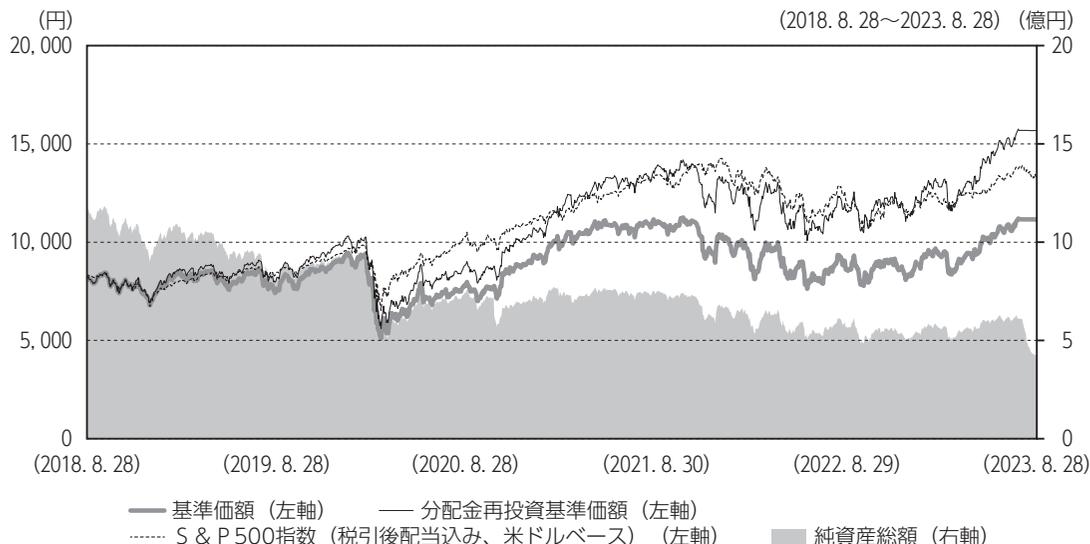
(注5) ①の費用は、1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注6) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注7) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2018年8月28日の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまご利用のコースにより異なります (分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります)。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- * 参考指数は S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) です。参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

	2018年8月28日 期初	2019年8月28日 決算日	2020年8月28日 決算日	2021年8月30日 決算日	2022年8月29日 決算日	2023年8月28日 償還時
基準価額 (円)	8,264	7,405	7,737	10,927	8,610	11,150.49
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	570	400	1,120	620	400
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△3.7	9.9	57.3	△15.7	35.1
S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率 (%)	—	0.5	23.1	30.8	△9.1	9.9
純資産総額 (百万円)	1,168	799	733	737	565	421

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) 騰落率は、S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース) の原データをもとに、大和アセットマネジメントが計算したものです。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

* 参考指数を「S & P 500 指数 (配当込み、米ドルベース)」から「S & P 500 指数 (税引後配当込み、米ドルベース)」に変更しました。

設定以来の投資環境について

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当ファンド設定時から2018年初めにかけて、バーナンキF R B（米国連邦準備制度理事会）議長の発言やチャイナショックなどを背景に市場が混乱する場面も見られましたが、トランプ政権の景気刺激策を好感して、上昇しました。しかし2018年末にかけては、米国の利上げが継続したことに加え、米中貿易摩擦による地政学リスクの高まりが警戒されたことなどを背景に、株式市況は軟調な動きとなりました。2019年には、米国で利下げが行われたことなどから投資家心理が改善し株価は回復したものの、2020年には、新型コロナウイルスの感染拡大を背景に、株価は大きく下落しましたが、米国や欧州を中心に積極的な金融・財政政策が実施されたことから、2021年末にかけて株価は大幅に上昇しました。2022年に入ると、ウクライナ情勢の緊迫化による地政学リスクの増大やインフレの加速に加え、米国で利上げが行われたことなどを背景に、株価は下落しました。2023年前半には、米国の地方銀行の経営破綻をきっかけに信用不安が高まる場面があったものの、F R Bの利上げ幅縮小への期待感などが株価を下支えしました。8月にかけては、米国のインフレ警戒感の後退やA I（人工知能）への期待感などを背景に上昇基調となり、償還を迎えました。

■ 為替相場

選定通貨（※）は、個別国要因などを背景に対円でまちまちな動きとなりました。

主な選定通貨の為替相場は、モディ政権による構造改革期待などが好感されたインド・ルピーや、当局による通貨安誘導が後退した中国・人民元などは対円で上昇（円安）しました。一方で、ロシアと欧米との関係悪化が嫌気されたロシア・ルーブルや、中央銀行に対する信認低下が懸念されたトルコ・リラなどは対円で下落（円高）しました。

※選定通貨とは、通貨の選定方針により、為替取引の対象通貨として選定された通貨をいいます。

■ 短期金利市況

選定通貨の短期金利は、高い経済成長率やインフレ率を背景に米ドルの短期金利をおおむね上回って推移しました。

一方F R B（米国連邦準備制度理事会）は、2015年から2018年にかけて段階的な利上げを行い、政策金利の誘導目標レンジを一時2.25~2.50%に引き上げる場面も見られましたが、2020年以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受け0.00~0.25%に引き下げました。2021年末以降は、中国

での新型コロナウイルスの感染拡大抑制に向けた厳格な制限措置の施行や、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした世界的なサプライチェーン（供給網）の混乱を受け、インフレ圧力が高まる中、2022年3月から段階的に大幅な利上げを実施しました。米国の政策金利は、償還期末では5.25～5.50%まで引き上げられました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（※1）と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資します。

主として、「US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」の受益証券を通じて、米国の株式（※2）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行い、信託財産の成長をめざします。

- ※1 US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）：ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）
- ※2 当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。

■US コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）

ボトムアップによる企業リサーチをもとに、財務内容が強固であり、経営陣が有能で、長期的にキャッシュフロー成長が見込まれる企業の中から、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている銘柄に厳選投資します。一時的な株価調整局面は企業の本源的価値に対して割安な水準で投資する機会と捉え、短期的な損益ではなく、長期投資のリターンを追求していきます。原則として、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り／選定通貨買いの為替取引を行います。

大和アセットマネジメント株式会社が通貨の選定および配分比率について助言を行います。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等による運用を行う方針です。

信託期間中のポートフォリオについて

(2013. 8. 20 ~ 2023. 8. 28)

■当ファンド

当ファンドは、「US コンセントレイテッド・ケイマン (通貨セレクト・クラス)」と「ダイワ・マネースtock・マザーファンド」に投資するファンド・オブ・ファンズです。「US コンセントレイテッド・ケイマン (通貨セレクト・クラス)」への投資割合は、信託財産の純資産総額の95%程度以上とすることをめざしました。

■US コンセントレイテッド・ケイマン (通貨セレクト・クラス)

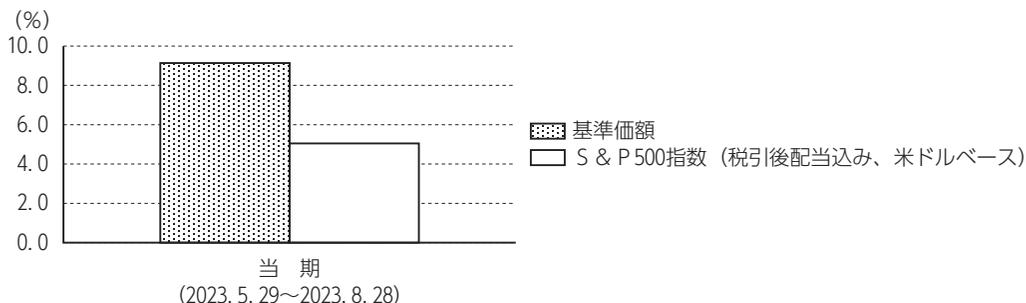
株式組入比率をおおむね90%以上の高位に維持しました。銘柄選択にあたって、ハリス・アソシエイツ・エル・ピーでは、独自に算出する投資対象企業の本源的価値と比較して著しく割安な銘柄に厳選投資することを基本方針としています。財務内容が健全であり、経営陣の質が高く、企業の本源的価値と比較して割安に放置されている企業に厳選投資しました。また、米ドル建ての資産に対して、米ドル売り/選定通貨買いの為替取引を行いました。選定通貨においては、金利水準、リスク水準、ファンダメンタルズ、流動性等を勘案し、中長期的な視点から安定したキャリー (利息収入) 収益が享受できる6通貨を毎月選定し、運用を行いました。当ファンド設定日以降、インド・ルピー、インドネシア・ルピア、フィリピン・ペソ、中国・人民元、豪ドル、ニュージーランド・ドル、ロシア・ルーブル、南アフリカ・ランド、トルコ・リラ、ルーマニア・レイ、ブラジル・レアル、メキシコ・ペソ、コロンビア・ペソ、チリ・ペソ、ハンガリー・フォリント、チェコ・コルナ、ポーランド・ズロチを選定通貨に組み入れました。また、取引対象通貨合計の比率は、原資産に対しておおむね100%を維持しました。

■ダイワ・マネースtock・マザーファンド

流動性や資産の安全性に配慮し、短期の国債やコール・ローン等により、安定的な運用を行いました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。
以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



分配金について

1万口当たり、第1期350円、第2期300円、第3期350円、第4期～第5期各450円、第6期350円、第7期300円、第8期～第9期各180円、第10期150円、第11期110円、第12期120円、第13期130円、第14期160円、第15期130円、第16期140円、第17期130円、第18期120円、第19期100円、第20期～第22期各140円、第23期150円、第24期140円、第25期120円、第26期80円、第27期120円、第28期80円、第29期120円、第30期300円、第31期～第32期各350円、第33期180円、第34期170円、第35期100円、第36期170円、第37期140円、第38期120円、第39期140円の収益分配を行いました。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



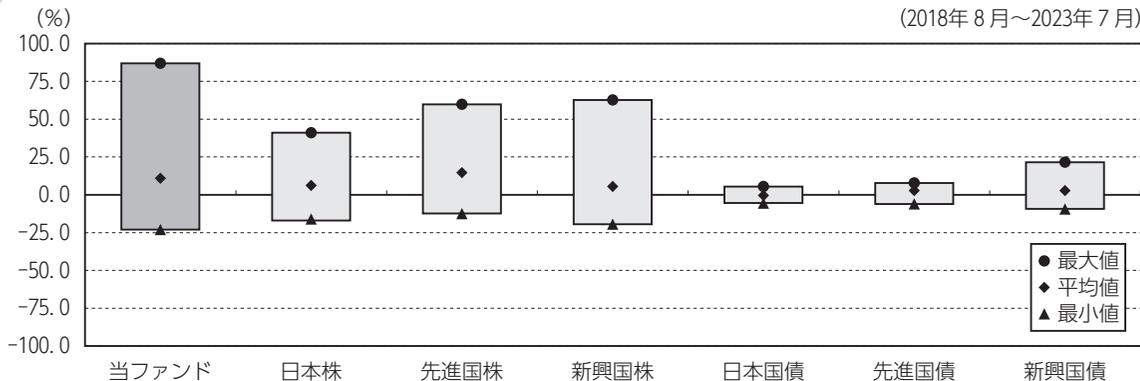
当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	2013年8月20日～2023年8月28日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	当ファンド	イ、ケイマン籍の外国投資信託「ダイワ・プレミアム・トラストーダイワ／ハリス U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」（以下「U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）」といいます。）の受益証券（円建） ロ、ダイワ・マネーストック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ・マネーストック・マザーファンド	円建ての債券
当ファンドの運用方法	<p>①主として、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の受益証券を通じて、米国の株式（※）の中から、割安と判断される銘柄を厳選して集中投資するとともに、為替取引を行ない、信託財産の成長をめざします。 ※当ファンドにおける米国の株式とは、米国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式（上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR（預託証券）を含みます。）をいいます。</p> <p>②当ファンドは、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）とダイワ・マネーストック・マザーファンドに投資するファンド・オブ・ファンズです。通常の状態で、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）への投資割合を高位に維持することを基本とします。</p> <p>③U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）では、米ドル建ての資産に対して米ドル売り／選定通貨（※）買いの為替取引を行ないます。 ※当ファンドにおいて、選定通貨とは、U.S. コンセントレイテッド・ケイマン（通貨セレクト・クラス）の投資顧問会社が決定した複数の通貨をいいます。</p>	
マザーファンドの運用方法	<p>①円建ての債券を中心に投資し、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。</p> <p>②円建資産への投資にあたっては、残存期間が1年未満、取得時においてA-2格相当以上の債券およびコマーシャル・ペーパーに投資することを基本とします。</p>	
分配方針	<p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、分配対象額の範囲内で、下記イ、およびロ、に基づき分配します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。</p> <p>イ、計算期末の前営業日の基準価額（1万口当り。既払分配金を加算しません。）が10,500円未満の場合、原則として、主要投資対象とする外国投資信託における配当収入等相当分から経費（外国投資信託の経費を含みます。）を控除した額を分配することをめざします。</p> <p>ロ、計算期末の前営業日の基準価額が10,500円以上の場合、原則として、当該基準価額に応じ、下記の金額（1万口当り）を分配することをめざします。</p> <p>a. 10,500円以上11,000円未満の場合……………300円 b. 11,000円以上11,500円未満の場合……………350円 c. 11,500円以上12,000円未満の場合……………400円 d. 12,000円以上12,500円未満の場合……………450円 e. 12,500円以上の場合……………500円</p> <p>なお、計算期末の前営業日から当該計算期末までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記の分配を行なわないことがあります。</p>	

S & P 500指数はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社（「SPDJ」）の商品であり、これの使用ライセンスが大和アセットマネジメント株式会社に付与されています。S & P[®]、S & P 500[®]、US 500、The 500、iBoxx[®]、iTraxx[®]およびCDX[®]は、S&P Global, Inc.またはその関連会社（「S & P」）の商標です。Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC（「Dow Jones」）の登録商標です。これらの商標の使用ライセンスはSPDJに付与されており、大和アセットマネジメント株式会社により一定の目的でサブライセンスされています。通貨選択型ダイワ米国厳選株ファンド -イーグルアイII- 予想分配金提示型 通貨セレクト・コースは、SPDJ、Dow Jones、S & P、またはそれらの各関連会社によって後援、推奨、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 500指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。



代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	86.9	42.1	59.8	62.7	5.4	7.9	21.5
平均値	10.9	6.3	14.6	5.5	△ 0.5	2.8	2.7
最小値	△ 23.0	△ 16.0	△ 12.4	△ 19.4	△ 5.5	△ 6.1	△ 9.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

- ①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。
- ②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。
- ③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※上記の騰落率は直近月末から60カ月さかのぼった算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

※資産クラスについて

日本株……………配当込みTOPIX

先進国株……………MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI国債

先進国債……………FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●配当込みTOPIXの指数値および同指数にかかる商標または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる商標または商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。●MSCIコクサイ・インデックスおよびMSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.（「MSCI」）が開発した指数です。本ファンドは、MSCIによって保証、推奨、または宣伝されるものではなく、MSCIは本ファンドまたは本ファンドが基づいているインデックスに関していかなる責任も負いません。免責事項全文についてはこちらをご覧ください。[https://www.daiwa-am.co.jp/specialreport/globalmarket/notice.html] ●NOMURA-BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI国債の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。●JPモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。



ファンドデータ

当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

純資産等

項 目	償 還 時
	2023年8月28日
純資産総額	421,288,081円
受益権総口数	377,820,171口
1万口当り基準価額	11,150円49銭

* 当作成期間中における追加設定元本額は2,210,162円、同解約元本額は212,773,615円です。

* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）でご覧いただけます。